

# Frente

三重県男女共同参画センター  
フレンテみえ  
フレンテとはスペイン語で  
「前向き」という意味です。

vol.66  
2016.8

秋のイベント  
大特集

男女共同参画フォーラム「みえの男女2016」

最強。パパ伝説「蝶野正洋という生きかた」

三重県内男女共同参画連携映画祭

10周年記念上映「わたしはマララ」ほか

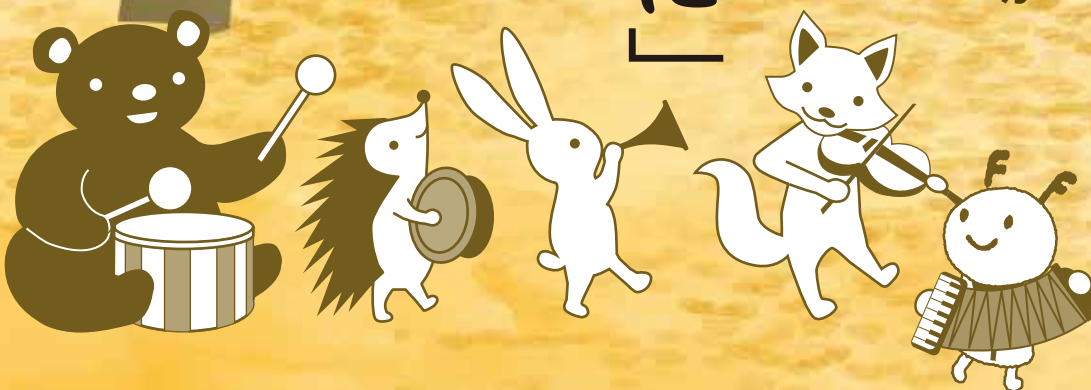
「今そこにある未来のために」

## Report

- フレンテまつり
- I LADY. in みえ
- 地域リーダー養成講座  
男女共同参画の視点から  
相談支援を考える。ほか

## 不定期連載インタビュー

フレンテイが聞く!みえのひとびと  
African Hands レーナー八千代さん



# 秋のイベント大特集

## 11月 6日 男女共同参画フォーラム ～みえの男女2016～ 企業も人も幸せになる、これからのWork & Life Style [仕事と介護の両立編]

### 基調講演

≪土堤内昭雄さん(ニッセイ基礎研究所 主任研究員)≫

少子高齢化が及ぼすさまざまな影響により、日本の労働力人口は減少の一途をたどっています。男女共同参画の推進はもちろんのこと、加えてこの課題を克服するために、「男女共同参画フォーラム～みえの男女(ひと)～」では、2014年からワーク・ライフ・バランスやダイバーシティ、イクボスについて考えてきました。

そして、今年は「仕事と介護の両立」を考えます。

今や日本の高齢化率は26.7%となり、高齢者の要介護者数も急速に増加しています。誰もが介護とは無関係でいられなくなり、そんな現状をみて国は「介護離職ゼロ」を掲げました。

仕事と介護を両立できれば、企業は育成した貴重な人財の流出を防ぐことができ、働く人は自立した生活を継続することができます。また仕事と介護を両立しながら活躍できる職場は、誰もが活躍できる職場であり、企業の生産性や創造性を高め、利益の拡大につながります。

仕事と介護を両立するには何が課題になるのか、それに対し企業は、人はどのように取り組んでいけばよいのか、みんなで考えましょう。

### 分科会

- ①仕事と介護の両立支援～介護離職ゼロをめざして～  
講師：平井千恵子さん(三重労働局雇用環境・均等室 室長)  
主催：フレンテみえ
- ②迫りくる「息子介護」  
～現状とその背景 男性が抱えやすい困難とは？～  
講師：平山亮さん(東京都健康長寿医療センター研究所 研究員)  
主催：フレンテみえ
- ③なるほど！社会保障の基礎知識  
講師：石塚哲朗さん(三重大学人文学部准教授)  
主催：三重大学男女共同参画推進室
- ④どう活かす？伊勢志摩サミット どう活かす？女性の能力  
講師：石阪督規さん  
(東京未来大学モチベーション行動科学部教授)  
主催：男女共同参画みえネット

### パネルディスカッション

- パネリスト 平山亮さん(東京都健康長寿医療センター研究所 研究員)  
平井千恵子さん(三重労働局雇用環境・均等室 室長)  
久保田久美さん((一社)三重県介護支援専門員協会 理事)  
コーディネーター 土堤内昭雄さん(ニッセイ基礎研究所 主任研究員)

日時：11月6日(日) 10:00～16:00

10:00～12:00 分科会

13:00～13:10 開会・あいさつ

13:10～14:20 基調講演

14:35～16:00 パネルディスカッション

場所：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホールほか

対象：全ての方

料金：無料

主催：三重県

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

## 10月 1日 三重県内男女共同参画連携映画祭 10周年記念フレンテみえ上映会「わたしはマララ」(字幕)

今年は、連携映画祭10周年を記念し、フレンテみえでも8年振りに上映会を開催します！命の危険に晒されながらも女子が教育を受ける権利を訴え続け、世界を変えるほどの活動を行いながらも、家族や友だちと一緒にいるときなどのプライベートでは10代のごく普通の少女、マララ。そんな彼女のさまざまな姿や思いを見ることができるドキュメンタリーです。当日は映画上映だけでなくトークイベント、フェアトレードショップの紹介なども開催予定。お楽しみに！

### ●10月11日は国際ガールズデー

「わたしはマララ」が上映される10月は、世界中の女の子たちを力づけるために、国連に加盟する100カ国以上の賛同を得て制定された「国際ガールズデー(毎年10月11日)」の月でもあります。

世界では、将来の稼ぎ手として期待できない女の子が、家計への負担などから、学校へ行くことも許されず、働いたり早くに結婚させられたり……。自分の人生が自由に選択できることすら知りません。

マララさんが訴え続けた「女の子や女性たちに教育や学ぶ機会をもたらすこと」は、彼女たちだけでなく、家族や地域、国にとって豊かになる一歩でもあります。

### ●私たちができること フェアトレードについて

世界の女性の支援をするために、私たちができることとして、ボランティアや募金活動以外にもフェアトレードの利用があります。

フェアトレードとは、作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、生産者の持続的な生活向上を支える仕組みで、私たち消費者が自分の気に入った商品を購入することでできる、身近な国際協力のかたちです。



©2016 Twentieth Century Fox Home Entertainment LLC. All Rights Reserved.

日時：10月1日(土)

13:30～16:30

会場：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」多目的ホール

対象：全ての方 定員：300名

料金：無料

10月  
16日

フレンテみえ男性講座

## 最強パパ伝説「蝶野正洋という生きかた」

同時開催：第3回「ファザー・オブ・ザ・イヤァー in みえ」表彰式

プロレス界のレジェンド、「黒のカリスマ」の異名をとる蝶野正洋さんがフレンテみえに登場!!!

海外での武者修行をきっかけに国際結婚、2人のお子さんがいらっしやる蝶野さん。

強面でヒール(悪役)の印象が強く、家庭の中でも「亭主関白で、子どもには背中中で語る親父」像を思い浮かべてしまいますが、実際はどのようなのでしょうか。

子育てへの関わり方、妻とのパートナーシップ、そして社会貢献活動。鈴木英敬三重県知事とのトークで、リングの外でも最強の蝶野さんの生き様に迫ります。

家庭や地域でステキな子育てをしている男性や、部下の仕事と育児の両立をしっかりと応援してくれる上司(イクボス)を自薦・他薦で募集した第3回「ファザー・オブ・ザ・イヤァー in みえ」の表彰式を同時開催。



### 【プロフィール】 蝶野 正洋さん

1963年生まれ。2歳までシアトルで過ごし、東京都三鷹市で育つ。1984年新日本プロレス入門。同年10月5日、武藤敬司戦でデビュー。1991年第1回G1クライマックスで優勝し、その後V5達成。1992年第75代NWAヘビー級王座を奪取。1996年にはnWoジャパンを設立し一犬ムーブメントを起こす。1998年IWGPヘビー級王座獲得。2010年2月に新日本プロレスを離れ、それ以降フリーランスとして活動。1999年12月にはオリジナルブランド「ARISTRIST(アリストリスト)」を設立し、代表取締役を務めている。今年4月に発足した「みえのイクボス同盟」スペシャルサポーターにも就任した。

日時：10月16日(日) 13:30～15:30

場所：三重県男女共同参画センター

「フレンテみえ」多目的ホール

対象：育児世代男性を中心とした全ての方

定員：300名

料金：無料

講師：蝶野正洋さん(プロレスラー)

鈴木英敬三重県知事

共催：三重県健康福祉部子ども・家庭局少子化対策課



### 「Mnews」vol.115に蝶野さんインタビュー掲載!!!

10月16日のイベントに先立ち、蝶野さんにインタビューをしてみました!妻のマルティーナさんとの出会いや、夫婦二人三脚でのアパレルブランド経営などのお話を、三重県総合文化センター情報誌「Mnews(エムニュース)」vol.115(9月20日発行予定)に掲載いたします(ホームページでもご覧いただけます)。お楽しみに!

フレンテみえ

検索

さらに男性の方向けに! /

フレンテみえ男性講座

職場でも! 家庭でも! きっと役立つ

12月  
10日

## 男性のためのコミュニケーショントレーニング

～知っておきたいアサーティブ～

男性の皆さん、「アサーティブ」ってご存知ですか?

これは、人を攻撃することなく、自分を押し殺すこともなく、相手も自分も尊重したコミュニケーションのこと。

日々の生活の中で「もう少し上手な言い方ができていたらもっといい結果になっていたかも・・・」なんて思ったことがある方。この講座では、職場や家庭、あらゆる場面で「円滑な人間関係づくり」に役立つコミュニケーションスキル「アサーティブ」をご紹介します!

この日から、きっとあなたの毎日が変わります!

日時：12月10日(土) 13:30～16:00

会場：三重県男女共同参画センター

「フレンテみえ」2階 セミナー室A

対象：20～40歳代を中心とした男性

定員：先着20名

料金：無料

講師：大井健司さん(特定非営利活動法人アサーティブジャパン認定講師)







# Event Report

## フレンテまつり with イザ!カエルキャラバン!

日程：6月4日(土) 10:00~16:00

毎年フレンテみえ登録団体の皆さんの交流・活動発表の場として実施している「フレンテまつり」。

東日本大震災から5年となる今回のフレンテまつりは、「防災」に関連するワークショップ等を行っている団体『NPO法人プラス・アーツ』とのコラボで実施しました。フレンテまつりと防災ワークショップ、そしてお子さんも気軽に参加できるおもちゃのかえっこを組み合わせることで、子どもたちも楽しみながらいろいろなブースへ繰り返し参加する姿が見られました。

さらに登録団体の皆さんからも普段の活動発表や展示だけでなく、各団体それぞれの視点から防災を考えるブースも多数出展され、防災と男女共同参画について考えていただく機会となりました。



## I LADY . in みえ

日程：6月5日(日) 11:00~16:00

三重の女性たちが“自分の体を知り、自分らしい選択する力”を考え体感するイベントとして、国際協力NGOジョイセフと共催し、ゲストのトークや体の診断などを行いました。トークではまずモデルの堂珍敦子さんから、災害時に女性におこる困難やそんな時だからこそ女性の力と意見が必要とのお話をいただきました。産婦人科医の宋美玄(ソンミヒョン)さんは、女性の体や性について、そしてその知識を持つことの大切さのお話、また男性も女性の体のことを正しく知ってほしいと語られました。そして女性のためのヨガ協会代表 仁平美香さんによるヨガ教室や体の悩みチェックも開催。みなさん実践し、「これからやってみよう」との声も聞かれました。



## 平成28年度 地域リーダー養成講座 男女共同参画の視点から 相談支援を考える。

日程：6月29日(水) 13:30~15:30

男女共同参画の視点をもって地域で活躍できる人材の育成を目的とした「地域リーダー養成講座」。

今年度は昨年に引き続き「フェミニストカウンセリング堺」フェミニストカウンセラーの加藤伊都子さんを講師に迎え、福祉活動など地域で相談・住民サポートに携わる方などを対象に、男女共同参画の視点を踏まえた相談支援について考える講座を開催しました。

講座では、様々な問題の背景に潜む「ジェンダー(社会的・文化的性別)」への理解を深めた上で、相談を受ける立場の人でもまず自身のなかにあるジェンダーを自覚し、社会通念やジェンダーに基づいた判断や応答をしないように心掛けることや、人々の意識が変わるのを待つのではなく、まず行動から変えていくことが大切であるなど、性的少数者やDV、母子家庭などについての様々な情報を踏まえながら、多くのメッセージが伝えられました。

昨年のご好評を受け伊勢市で開催した本講座には県南地域からも多くの方が参加。受講後は「視野が広がった」「相談支援をする立場としての心構えがよくわかった」などの声が寄せられました。

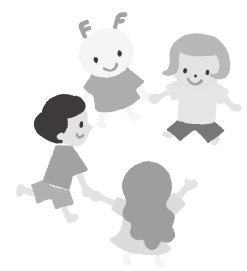


第2回

【連載】ジェンダーって何？

人は女に生まれるのではない、女になるのだ

前回、「性別によって役割がある」「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」「男らしさ」「女らしさ」という考えを基にした性別を「ジェンダー」と呼ぶとお伝えしました。



今回は、その「こうあるべき」や「らしさ」は性別による固有のものなのか？について考えたいと思います。

たとえば最近では料理ができる男性も増えてきましたが、それでも日本ではまだまだ母親や妻といった女性が家族の食事を用意することが一般的ではないでしょうか。その背景には「女性が家事をするもの」というジェンダー意識があります。

しかし1500年代に日本を訪れた宣教師ルイス・フロイスは手記の中で「ヨーロッパでは普通女性が食事を作る。日本では男性がそれを作る。そして貴人たちは料理を作るために厨房に行くことを立派なことだと思っている」と記しています(ルイス・フロイス著「ヨーロッパ文化と日本文化」)。

武士が野蛮と見下され、繊細な貴族男性のほうがよいと考えられていた時代もありましたし、最近ではピンク色をファッションに取り入れる男性を町でよく見かけますが、女性っぽいという印象は受けません。

世界には男性の正装がスカートという国があります。女性にしか土地の相続権がない地域もあります。ロシアに行った旅行者たちは、「路面電車とトロリーバスの運転手が女性ばかりだ」と口をそろえて話します。

このように同じ日本であっても時代が変われば、性別による「こうあるべき」や「らしさ」は異なりますし、世界を見ると、地域によって異なることもわかります。つまり、「こうあるべき」は普遍的ではなく流動的で、固有のものではないということです。

しかし、そうはいっても「男と女では体が違うし、力が違うよね」「男性脳、女性脳って聞けど?」「性別によって特性があるんじゃないの?」と疑問を持たれる方もいらっしゃると思います。

確かに性別による傾向はあるかもしれませんが、しかし、その傾向に当てはまる人がいる一方で、当てはまらない人もいます。傾向はあくまで傾向。「こうあるべき」ではないのです。前回もお伝えしましたが、性別を血液型に置き換えるとよくわかります。仮にも血液型によって能力や性質に傾向があったとしても、だから「A型はこうあるべき」とはならないですね。

そもうひとつ。性別によって特性があるとしたら、育て方が大きな影響を与えている可能性があります。たとえば男性は将来リーダーとなるように期待されているので、そう育てようとする。女性は将来家族の面倒をみるように期待されているので、そう育てようとする。

「人は女に生まれるのではない、女になるのだ」とフランスの作家シモーヌ・ド・ボヴォワールは書いていますが、女性は女性の特性とされるものを、男性は男性の特性とされるものを後天的に獲得している面も少なからずあるのではないのでしょうか。

このように、性別による「こうあるべき」や「らしさ」は、一律に持って生まれるものでもなく、固有のものでもありません。しかしジェンダー意識は非常に強く社会に根づいています。今回はジェンダーを背景に社会が抱える課題についてお伝えします。

フレンテみえって、なに？

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流という「5本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください！

～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど…男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

**女性のための電話相談** 秘密厳守・相談無料

フレンテみえ相談室 **専用ダイヤル 059-233-1133**

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00～12:00	休館日	●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00～15:30	休館日	●	—	—	●	●	●	●
夜 17:00～19:00	※	—	—	●	—	—	—	—

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)



三重県男女共同参画センターまでのご案内

休館日 毎週月曜日 年末年始 (12月29日から1月3日まで)

交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分 ■徒歩/津駅西口から約25分 ■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分 ※駐車場は1400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 三重県総合文化センター 三重県男女共同参画センター フレンテみえ 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地 TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135 URL http://www.center-mie.or.jp/frente/ E-mail: frente@center-mie.or.jp

フレンテみえ相談室のご案内 (切り取ってご利用ください)

